

# 1. 評価結果概要表

作成日 2007年8月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1275900213		
法人名	株式会社相生		
事業所名	ゆうなぎ九十九里		
所在地	千葉県山武郡九十九里町小関2361番地1 (電話) 0475-70-7333		
評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年8月1日	評価確定日	9月7日

【情報提供票より】(19年7月16日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	専任4人・兼務2人・非常勤5人・常勤換算4.3人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て		
	1階建ての	1階	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費11,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 230,000円	有りの場合 償却の有無	有 (期間:2年間)	
食材料費	朝食	300 円	昼食	350 円
	夕食	450 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(7月16日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 77 歳	最低	70 歳	最高	86 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人静和会 浅井病院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

九十九里海岸にほど近い閑静な住宅街に位置する、木造平屋建てのホームである。オープンして2年ではあるが、運営者・管理者・職員のコミュニケーションが良く取れており、家庭的で明るい雰囲気をかもし出している。外部評価は今回が初めてで、管理者・職員一丸となって意欲的に取り組んだ。入居者一人一人に柔軟に対応した個別ケアを実践し、質の高いサービスを心がけている。清潔で心地よいホーム内で、入居者・職員が明るく楽しい笑顔で生活している様子が見受けられた。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価は今回が初めてである。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で意見交換しながら自己評価に取り組んだ。これによりホームの現状把握が出来、運営・サービス両面において目標を立てて業務に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議はこれまでに4回行っている。今後もサービスの質向上のため、具体的なテーマに基づいて、定期的に話し合いを行っていく予定である。また近隣住民や市区町村などの参加者を増やし、地域に根ざしたホームとなるよう心がけている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月発行のホーム便り「ゆうなぎ かわら版」に入居者の暮らしを掲載している。また同ホームのサイトでも、入居者の様子を知ることが出来る(家族のみパスワード入力で閲覧可能)。情報提供は十分に行っているが、家族の意見・要望の聴取については、より一層の働きかけが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩や買い物等を通じての地域交流は行っている。今後は、防犯・防災のための地域連携や、ホームの機能を活かした地域協力など、より一層地域に根ざしたホームとなるための模索が促される。

## 2. 評価結果 ( 詳細 )

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な雰囲気の中で、ひとりひとりのペースにあった、その人らしい生活が安心して出来るように支えあい、認めながら過ごす」を理念としている。この理念は、ホーム内には掲示されているが、外部向けのパンフレットや説明文書には謳われていない。		理念をパンフレットやホームページなどに掲載し、ホームの役割を地域へ啓発することが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員が参加する定期的なケア会議等で話し合い、理念を共有している。また、理念をケアの中に実践するよう心がけている。		
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム設置からまだ日が浅いため、交流を深めている途上である。今後も積極的に地域交流していく予定である。		地域が主催する行事等に参加する意思を、自治会などに伝えると同時に、事業所で行う行事や活動を紹介するなど、双方向の交流関係を構築することが期待される。
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解しているものの、その評価結果を活かすにはいたっていない。今後、これらの評価を活かした取り組みを行っていくこととしている。		改善項目を取り上げて改善シートを作成するなど、具体的な行動計画を立てて実践することが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間予定を定めて運営推進会議が行われている。そこで出た意見等をいかにサービスに結びつけるか、検討しているところである。		運営推進会議で出た意見・要望等へのホームの対応を、次回の会議で報告するなどし、サービスの質向上に役立てることが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて、市町村担当者に連絡を取っているが、十分な連携とはいえない。		家族、地域連携は基より、事業所運営に必要な情報は市町村にある場合があり、担当者との連携から知恵が生まれることもある。気軽に相談や情報提供が双方でできる関係構築が期待される。
7	14	家族等への報告 事業所での入居者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月定期的に今月の様子を掲載している「かわら版」、金銭管理帳「御小遣い帳」を郵送している。また、随時電話連絡や面会時には報告や相談に時間が十分に取れるように配慮している。ホームページでは、パスワードで個人情報を管理し、入居者の様子が分かるものを掲載し家族に紹介している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や苦情はいつでも受け付けられるような環境をつくっているが、それらを運営に反映できる仕組みが充分とは言えない。		家族は心情的に意見・苦情をホームに言いづらいものである。意見箱の設置ほか、意見聴取の方法や手段を工夫し、家族の不安を取り除く仕組みづくりが期待される。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、入居者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている	全職員が全ての入居者との関係を大切にすることで、入居者への心理的、精神的な影響が最小限になるようにこころがけている。また、職員がいないことを気にしている入居者には休みであることを伝え、話しを違う方向にもっていくなど配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成の重要性を十分に理解しており、研修に参加しやすい雰囲気作りを心がけている。新人が入った際は、先輩職員が指導を行っている。現任職員に対する計画的なフォローアップ研修までは行われていない。		今後は、新任・現任職員に対し、計画的な段階別研修を行うことが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者交流まで至っていない状況である。		サービスの質向上、問題点の解消や緊急時の連携等、同業者から得られる情報は多いので、交流が促される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の入居者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と十分な話し合いを行い、事前に施設見学や生活の様子に分かるようにしている。体験入居も採用している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>掃除・洗濯・調理など役割を持って取り組み、日常の中で互いに支えあっている。畑作業、魚のさばき方を入居者から教えられるなど、入居者と職員が互いに学びあう場面が多くみられている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>居室担当者が入居者とマンツーマンで情報収集してケアプラン作成に活かしている。日常生活の中で職員が気付いた点はケア会議で共有し、できるだけ入居者の希望や意向に沿うよう努力している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる入居者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族、居室担当職員、ケアマネ、医師、入居者など意見やアイデアを出し合い、具体的に実現できるような目標を定めて、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>援助目標の期間が過ぎてしまっている介護計画が散見された。</p>		<p>設定した期間での見直しはもちろん、入居者の変化に応じてこまめに話し合い、援助目標の臨機応変な見直しを図ることが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の希望に応じた送迎、外泊、外食など、柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	夜間や救急の対応は協力病院にお願いするが、通常は入居者個々の主治医にかけられるようにしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者の介護度が低いので、現状、ターミナルケアを必要とする人はいない。今後要請があったとき、ホームとしてどこまでケアできるか、医師、家族、職員などの関係者で話し合いをしており、連携して対応することを検討している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に関しては、入職時、全職員が誓約書にサインしている。職員は、入居者一人ひとりの尊厳を大切に、さりげない言葉掛けや対応に配慮しているが、つい大きな声を出してしまうこともある。		入居者の尊厳を守るため、言葉かけ等、引き続き、配慮を続けていくことが期待される。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の希望が把握しきれず、職員の都合、職員のペースになってしまうことがある。		起床、就寝、食事、入浴、散歩など、入居者の希望やペースに合わせた支援をすることが必要と思われる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	訪問時、男性入居者が台所に立ち、他の入居者ともども昼食の準備に忙しくされていた。後片付けは入居者が行い、職員は見守りにつとめていた。入居者はみな、楽しそうに職員と話をしながら昼のひと時を過ごされていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に応じて午前・午後に入浴できる。入浴剤を使ったり、職員の声かけで楽しく入浴できるよう工夫している。同性介助を原則としている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は入居者一人ひとりの生活歴や楽しみごと、持てる力などを見極める努力を重ね、入居者が自分らしく過ごせるような場面作りや言葉かけを行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週1回の買い物、月1~2回の外食、天気の良い日は散歩など、外出の機会を多く設けている。しかしながら、介護度の高い入居者は余り外出をしていない。また、皆で一斉の外出が多い。		介護度が高く、外出の機会が少ない入居者への工夫が求められる。また、入居者がそれぞれ、行きたいところに行けるような支援も必要と思われる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は開放している。しかし、1人で外へ出てしまいがちな入居者への安全配慮のため、ユニットから玄関へ出る通路のドアを施錠している。		外へ出たがる入居者への対応について再考し、できれば施錠以外の方法を工夫することが望まれる。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導を受けた避難訓練は行っていない。		非常災害時の職員の役割分担、避難誘導の手順、地域の避難場所等、確実に把握し、日ごろから訓練することが必要と思われる。また地域住民との連携を結んでおくと、より安心であると思われる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は把握している。また入居者別の疾患別注意事項なども職員間で情報共有されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、入居者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の音、光、風、温度・湿度などの管理はできている。入居者の手作りの作品や装飾品、季節を告げる生け花、時計やカレンダー、一人がけのソファ、畳敷きのコーナー、廊下に用意されたはめ込み式の簡易椅子など、木のぬくもりが心地よい雰囲気をかもし出している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、思い出の家具、作品、写真、テレビなどが衣類と共に持ち込まれ、一人でくつろいだ時間が作れるような環境となっている。		